

関西オートメイション 独製の粉・粒体計測器発売

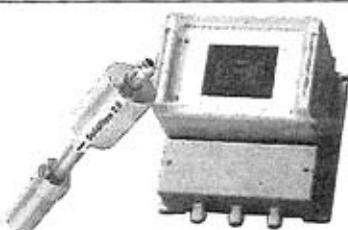
関西オートメイション（大阪市北区、富坂典夫社長、06・6312・2071）は、独SWRエンジニアリング製のオンライン粉粒体計測器2機種を発売した。

ロード・オーバー型（写真）は、消費税抜きの価格200万円から、水分計「M-センス2型」は同250万円から。いずれも、初年度に100台の販売を目指す。

0型は、配管にセンサーを取り付け、発信したマイクロ波の反射を検出して配管内の粉粒体流量を非接触で測定できる。

M-センス2型は高周波センサーを用い、空気輸送でも計測が可能。精度は±2.5%

%と高く、補正、メンテナンスはほとんど不要という。



従来の流量計測は落下する粉粒体を検出板に当てる力を流量に変換する衝撃式が中心だった。

測定でき、流速や測定物の色変化にも影響されない。水分の測定範囲は0~65%と広く、精度は0.1%で高い。